研究分科会　Ⅰ　　小学校　ＮＩＥ・総合

研究主題	学ぶ意欲を高める 新聞の利用をめざして	提案者	北海道 音更町立木野東小学校 森　谷　　栄　介

１．はじめに

新聞を学習に利用するとき、そこには様々な効果が期待できる。その中でも特に、「学習意欲を高めること」に期待をして、実践に取り組んだ。

中学年の児童にとって、難しい漢字の使用されている新聞は、扱いにくい教材でもある。しかし、児童の欲している情報と記事の内容とが合う。あるいは、新たな活動への動機付けとなる記事の内容であれば、充分に魅力的な教材となりうると考える。

ささやかではあるが、以下にその実践を紹介したい。

２．取り組みの概要

（１）総合的な学習の時間での実践

音更町にある「十勝川温泉」は、世界に２つしかないと言われている「モール温泉」である。音更町の大きな観光資源でもあり、外国からの観光客も多数訪れる地である。しかし、地元でありながら、児童がそれほど身近には感じていないこともあって、題材として十勝川温泉を取り上げることにした。

与えた新聞記事は、「白鳥まつり」などのイベントの記事と観光客が減少し続けている記事。これらの記事から、温泉でも観光客を増やすために様々な努力をしていることや、自分たちにもできることがないかを考えるきっかけをつかむことができた。

児童たちは、観光客を増やすためという目的意識をしっかりと持ちながら、温泉紹介のパンフレット作りに意欲的に取り組んだ。

（２）社会科での実践

社会科では、副読本「おとふけ」を使用して学習をしている。４年生の上下水道、ゴミ処理の題材も、地元の施設を通して学習している。しかし、浄水や下水処理の仕組みついては詳しい記述がなく、学習するにあたって、「おとふけ」は不便な面もある。

そこで、地元の新聞で掲載されているＮＩＥのページより、浄水場の仕組みや下水処理の仕組みが特集されている記事を与えた。児童は、意欲的に記事を読み、ノートにまとめ直すなどの活動に取り組むことができた。見学学習へ行く前に、より具体的な施設のイメージを持つことができ、有意義な施設見学ともつながった。

３．研究の成果と課題

（１）成果

ＮＩＥの実践を通して、児童の学習意欲を高めることにつながったと感じている。導入した単元での活動の様子や、児童の自己評価･感想などからもその様子は充分に読み取ることができた。

（２）課題

どの単元で、どういった記事を用いて、どのような活動を仕組んでいくのか。教育課程に位置づいた系統的な指導も必要と感じる。僅かな実践者のみがＮＩＥ活動を行うのではなく、実践者の裾野を広げていくことが、児童の力を高めていくことにもつながっていくと考える。